

事業の実施状況

(1) リハビリテーション医療事業

A 入退院患者の状況

(単位：人)

平成 26 年度末 入院患者数	平成 27 年度 入院患者数	平成 27 年度 退院患者数	平成 27 年度末 入院患者数
78	339	331	86

ア 平均入院日数

(単位：日)

	男性	女性	合計
平成 27 年度	85.1	88.4	86.2
平成 26 年度	82.9	84.6	83.5
増 減	2.2	3.8	2.7

イ 退院先

平成 27 年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数 (人)	255	54	22	331
構成割合 (%)	77.0	16.3	6.7	100

<参考>

平成 26 年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数 (人)	269	64	24	357
構成割合 (%)	75.4	17.9	6.7	100

ウ 入院患者の疾患別内訳

平成 27 年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数 (人)	238	32	45	10	14	339
構成割合 (%)	70.2	9.5	13.3	2.9	4.1	100

<参考>

平成 26 年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数 (人)	250	33	51	7	9	350
構成割合 (%)	71.4	9.4	14.6	2.0	2.6	100

エ 平均年齢

(単位：歳)

平成 27 年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	62.5	63.0	62.7

<参考>

(単位：歳)

平成 26 年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	61.1	64.2	62.1

オ 主な保健医療圏別患者数

平成 27 年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数 (人)	149	47	44	24	10	9	30	26	339
構成割合 (%)	44.0	13.9	13.0	7.1	2.9	2.6	8.8	7.7	100

※その他の内訳：久慈 10 人、両磐 4 人、県外 12 人

<参考>

平成 26 年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数 (人)	177	51	39	19	9	12	33	10	350
構成割合 (%)	50.6	14.6	11.1	5.4	2.6	3.4	9.4	2.9	100

※その他の内訳：久慈 4 人、両磐 1 人、県外 5 人

B 外来患者の状況

平成 27 年度	常設診療科	非常設診療科							
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	計
患者数（人）	5,165	685	58	72	1,691	254	221	0	2,981

<参考>

平成 26 年度	常設診療科	非常設診療科							
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	計
患者数（人）	5,584	720	33	106	1,285	188	159	0	2,491

C 患者数の状況

ア 入院患者及び常設診療科外来患者の状況

(単位：人)

区 分		平成 27 年度	平成 26 年度	増 減	備 考
入 院	延患者数	28,600	29,415	△815	2.8%の減
	1 日平均患者数	78.1	80.6	△2.5	3.1%の減
外 来	延患者数	5,165	5,584	△419	7.5%の減
	1 日平均患者数	21.3	22.9	△1.6	7.0%の減

イ 非常設診療科外来患者の状況

(単位：人)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	増 減	備 考
泌尿器科	685	720	△35	4.9%の減
耳鼻咽喉科	58	33	25	75.8%の増
眼 科	72	106	△34	32.1%の減
歯 科	1,691	1,285	406	31.6%の増
循環器内科	254	188	66	35.1%の増
糖尿病代謝内科	221	159	62	39.0%の増
精神科	0	0	0	-

D 訪問事業の状況

平成 27 年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数（人）	44	8
延訪問回数（回）	2,060	292

<参考>

平成 26 年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数（人）	32	7
延訪問回数（回）	1,446	251

E 市町村等への情報提供

地域で連続して保健指導や各種のサービスが受けられ、生活の確保が出来るように支援するため、退院時診療情報提供票、退院時看護要約、機能回復療法部報告書を居宅介護支援事業所等と市町村に情報提供を行った。

平成 27 年度	102 件
平成 26 年度	168 件

(2) 地域支援事業

A 市町村支援事業

要請の市町村への支援

- ・一関市運動器の機能向上プログラム委託事業所への講師派遣
派遣回数 1 回、派遣職員延 4 人 被指導者数延 4 1 人
- ・一関市「包括的継続的ケアマネジメント研修会」
派遣回数 2 回、派遣職員延 4 人 被指導者数延 2 5 7 人

- ・普代村介護予防教室への講師派遣
派遣回数4回、派遣職員延16人 被指導者数延105人
- ・山田町介護予防教室への講師派遣
派遣回数6回、派遣職員12人、被指導者延179人
- ・滝沢市高齢者大学教養講座
派遣回数1回、派遣職員3人、被指導者延50人
- ・滝沢市地域ネットワーク研修会
派遣回数1回、派遣職員3人、被指導者延47人
- ・北上市ケアマネジメント支援会議等への講師派遣
派遣回数2回、派遣職員2人、被指導者延80人
- ・岩泉町介護予防サポーター養成講座への講師派遣
派遣回数1回、派遣職員2人、被指導者延14人
- ・花巻市若葉町地域づくりによる介護予防推進事業講師派遣
派遣回数1回、派遣職員3人、被指導者延14人

B 地域リハビリテーション関係職員研修会

県内保健医療圏毎に地域リハビリ関係者に対し研修会を実施
開催回数4回、派遣職員数延べ36人 被指導者数延べ178人

C リハビリテーション情報の提供

リハビリテーション活動の紹介や最新情報を掲載した情報誌「ななつもり」を3ヵ月に1回ホームページ上に掲載し、発信した。

D 広域支援センター支援事業

- ・地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会を2回開催（7月9日、3月24日）
- ・広域支援センター、保健所等との連絡調整、話題提供等
9圏域、14回、従事職員数延べ28人（気仙4回、盛岡南部3回、久慈2回、他1回）

E 介護予防研修会

介護予防事業者を対象に身体機能評価等を中心に「運動器の機能向上プログラム」の基本知識とトレーニング技術等の研修を基礎編と被災地編に分け実施した。

実施回数2回、従事職員数延べ17人、被指導者数延べ50人

F シーティング事業

車イス等の利用者が、座位姿勢を適切に保持することにより、機能的な身体活動を行い、種々の合併症を予防する上で重要なシーティングの専門的知識や技術を県内に普及する事を目的として助言等を行った。

- ・れいたく苑職員向け研修会、症例検討会の開催 1回 20名受講
- ・特別養護老人ホーム「ふれあい荘」での技術支援、事例検討会へ講師等を派遣（摂食嚥下含む）
5回開催 対応職員6人、被指導者数延べ85人

G 高次脳機能障害者支援普及事業

県内の支援拠点機関としての支援体制の整備を図り、専門的な相談支援及びサービスを提供

- ・相談支援コーディネーター4名及びこころのケア支援員を1名配置し、専門的な相談支援及び関係機関との連絡調整を行った。

相談件数延べ1,226件、実人数104人

- ・支援ネットワーク構築のための連絡普及協議会の開催
2回開催、出席者数延べ55人

H 被災地高齢者リハビリテーション支援事業

各関係機関と連携し被災地支援活動を行った。

支援回数（事前調整、集団指導等）47回、集団指導 被支援者数延べ 685人

I シルバーリハビリ体操指導者養成事業（新規）

高齢者を対象に体操指導者を養成し、モデル3町における地域住民が運営する介護予防及び通いの場づくり等の円滑な実施の支援を行った。

- ・モデル3町 3級指導者養成数65人 対応職員14人、フォローアップ支援回数17回

（3）教育研修事業

A 医療従事者対象研修会（保健師、看護師等）

- ・呼吸リハビリテーション研修会 1回開催、受講者数28人
- ・高齢者保健福祉施設リハビリテーション研修会 2回開催、受講者数延べ 62人

B 患者家族教室

講話会、お口元気教室等 47回開催、参加者数延べ 598人

C 学生受け入れ

岩手医大歯学部、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の学生受け入れ
20校、実69人(延825人)

D リハビリテーションセンター体験学習

ふれあい看護体験 19人

F 講師派遣

学生講義、施設職員対象研修等 62回、受講者数延べ3, 522人

G 院内職員研修会

対象 センター内職員開催回数15回、参加者数延べ965人

① 6月17日

講師 副センター長 佐藤義朝

テーマ 「医療安全、一次救命処置について①」

② 6月24日

講師 診療科長 村上英恵

テーマ 「医療安全、一次救命処置について②」

③ 7月1日

講師 センター長 大井清文、副センター長 青木俊明

テーマ「診療報酬の改定に伴い回復期リハビリテーションの今後の動向とセンターとしての課題」

④ 7月15日

講師 産業保健総合支援センター産業保健相談員 坂下史絵

テーマ 「職場のメンタルヘルスについて」

⑤ 8月26日

講師 臨床検査技師 川村将史

テーマ 「医療機関で働く際に知っておきたい感染症」

⑥ 9月16日

講師 業務推進課長 山本康典、業務推進課長 村上正晃

テーマ 「個人情報の保護について」

⑦ 9月30日

講師 看護師長 釜石絵利子

テーマ 「医療安全（ホットラインコール）」

⑧ 10月26日

講師 岩手県立中央病院 感染管理部 感染管理認定看護師 福田祐子

テーマ 「基本的な医療関連感染対策」

⑨ 11月19日

講師 副センター長 佐藤義朝、理学療法科長 佐藤英雄、看護師長補佐 齋藤由利子

テーマ 「平成26年度の報告内容の対策・分析、リスク管理について」

⑩ 12月2日

講師 理学療法科長 佐藤英雄

テーマ「災害時の対応（患者搬送の方法）」

⑪ 12月21日

講師 業務推進部長 菅原芳彦

テーマ 「接遇について」

⑫ 1月13日

講師 盛岡繋温泉病院 理事長 小西一樹

テーマ 「禁煙について」

⑬ 1月27日

講師 看護師長補佐 齋藤由利子

テーマ「医療安全（KYTの復習とノンテクニカルスキル）」

⑭ 2月3日

講師 看護師長補佐 齋藤由利子

テーマ「医療安全（KYTの復習とノンテクニカルスキル）」

⑮ 3月9日

講師 理事長 高橋明

テーマ「接遇について」

H 普及啓発

①視察者に対するリハビリテーションの普及啓発

民間団体等のセンター視察対応

視察者数 855団体(平成5年10月～平成28年3月) 延べ16,439人 (当年度7団体116人)

②いわてリハビリテーションフォーラム

一般県民に対するリハビリテーションの普及啓発

開催日 平成27年11月3日(祝日) 場所 アイーナ 来場者数 276人

(4) 調査研究事業

医学的リハビリテーション技術の向上と障害者の福祉の向上を図るため、調査研究事業を行っている。

研究内容

A 平成27年度研究発表業績

ア 診療部

1. 当センターにおける頸髄損傷の転帰についての調査(第2報)

第52回日本リハビリテーション医学会学術集会 新潟県新潟市 2015年5月28日

○村上英恵、大井清文、佐藤義朝、村田深雪、高橋明

2. 岩手県における平成26年度高次脳機能障害実態調査の報告

第52回日本リハビリテーション医学会学術集会 新潟県新潟市 2015年5月29日

○村田深雪、大井清文、高橋明、佐藤義朝、村上英恵

3. 介護老健施設における摂食嚥下リハビリの課題—PTおよびOTに対するアンケート調査から—

第52回日本リハビリテーション医学会学術集会 新潟県新潟市 2015年5月29日

○佐藤義朝、大井清文、高橋明、村上英恵、村田深雪

4. 岩手県における病院・施設の摂食嚥下治療の現況—いわて摂食嚥下リハビリテーション研究会の調査報告から—

第21回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会 京都府京都市 2015年9月12日

○佐藤義朝、川村将史、大井清文、高橋明

5. 廃用を契機に増悪した挿管性反回神経麻痺による嚥下障害が、リハビリにより改善した1例
第20回岩手神経疾患研究会 岩手県盛岡市 2015年12月12日

○佐藤義朝、大井清文

6. 入院早期から退院後も完全側臥位法を継続することで、3食経口摂取が可能となった
Wallenberg症候群の1例

第39回日本リハビリテーション医学会東北地方会 宮城県仙台市 2016年3月12日

○佐藤義朝、大井清文、高橋明、村上英恵、村田深雪

イ 看護部

7. 各ステージにおける摂食嚥下障害のリハビリテーションの実際～生活期の関わり～

平成27年度岩手リハビリテーション連携フォーラム岩手県盛岡市 2015年8月22日

○釜石絵利子 大井清文 佐藤義朝 山本なお子

8. 高次脳機能障害のある患者の看護における看護師の行動

国際リハビリテーション看護研究会継続教育プログラム 東京都 2015年8月30日

○高橋晶子 古舘郁子

9. 東日本大震災後の岩手県沿岸地区サポートセンターの健康講座の参加者評価

リハビリテーション・ケア合同研究大会 兵庫県神戸市 2015年10月1日

演者：○山本なお子 大井清文 渡辺幸太郎

- 1 0. 脳血管疾患患者の外泊チェック表改訂後の使用状況調査
リハビリテーション・ケア合同研究大会 兵庫県神戸市 2015 年 10 月 1 日
○後藤由美 山本なお子 上斗米律子
- 1 1. 回復期リハ病棟ケア 1 0 項目宣言及び追加 2 項目の実態調査と課題
回復期リハビリテーション病棟協会 第 2 7 回研究大会 i n 沖縄
那覇市 2016 年 3 月 4 日
○上斗米律子
- 1 2. 退院後の生活を見据えた退院支援のためのスタッフ教育の検討
回復期リハビリテーション病棟協会 第 2 7 回研究大会 i n 沖縄
那覇市 2016 年 3 月 5 日
○下野心

ウ 機能回復療法部

理学療法科

- 1 3. 頸髄損傷者における車いすシーティングにより後頸部痛を生じた一症例 三次元動作解析装置から頭部・体幹に着目して
第 50 回日本理学療法学術大会 東京都 2015 年 6 月 5 日
○下杉祐子、中村一葉、福士宏紀、小野寺一也、関公輔、大久保訓、鷹觜悦子、諸橋勇
- 1 4. 床上動作の施行が立位バランスに及ぼす効果～重度感覚障害に伴う運動失調を呈した症例への介入～
第 17 回岩手県理学療法学術大会 岩手県盛岡市 2015 年 7 月 5 日
○高山僚平、高階欣晴、佐藤英雄
- 1 5. 転倒後における高齢者の転倒自己効力感・転倒恐怖感と活動変化との関係
第 17 回岩手県理学療法学術大会 2015 年 7 月 5 日
○田中香穂里
- 1 6. H 波の呼吸による変化
第 17 回岩手県理学療法学術大会 2015 年 7 月 5 日
○千葉終兵
- 1 7. 回復期病棟における自立歩行獲得後の転倒分析
リハビリテーション・ケア研究合同大会 兵庫県神戸市 2015 年 10 月 1 日
○渡辺幸太郎、佐藤英雄（機能回復療法部）、大井清文（診療部）
- 1 8. 側臥位における下側の肩甲骨位置について
第 33 回東北理学療法学術大会 宮城県仙台市 2015 年 11 月 10 日
○佐藤弘樹、山下浩樹、佐藤英雄
- 1 9. 座面の硬さの違いによる側方座位リーチ動作が体幹反応に及ぼす影響
第 33 回東北理学療法学術大会 宮城県仙台市 2015 年 11 月 10 日
○山口美沙都、小野寺一也、関公輔、佐藤英雄
- 2 0. 当センターにおける車いす移乗動作に関連する転倒・転落要因についてー車いすへの移乗介助群と車いすへの移乗自立群の要因比較ー
回復期リハビリテーション病棟協会 27 回研究大会 沖縄県 2016 年 3 月 4 日
○関公輔、小野寺さき（機能回復療法部）、千葉勝江、齋藤由利子（看護部）、大井清文（診療部）

作業療法科

- 2 1. 両膝屈曲困難な重複障害者の移乗動作獲得に対する作業療法の介入～車いすフットサポートへの足載せ動作におけるリフトの応用的活用～
第 49 回日本作業療法学会 兵庫県神戸市 2015 年 6 月 19 日
○山本晶子、村上敏昭、鷹觜悦子
- 2 2. 脳卒中左片麻痺患者の体幹に着目したアプローチにより、上肢機能向上を認めた症例
第 26 回東北作業療法学会 青森県弘前市 2015 年 9 月 26 日
○川畑智代、山本晶子
- 2 3. 痛みとしびれ～視神経脊髄炎の症例を経験して～
第 26 回東北作業療法学会 青森県弘前市 2015 年 9 月 26 日
○阿部栞 山本晶子

24. 電気刺激療法を用いて上肢機能向上を認めた上肢片麻痺及び高次脳機能障害を呈した一症例
第26回東北作業療学会 青森県弘前市 2015年9月26日
○小野寺さき 山本晶子 大井清文
 25. 身体機能の状態と目標を共有し、右上肢機能向上と復職へ繋ぐ事が出来た一症例
岩手県作業療学会 岩手県盛岡市 2015年11月1日
○小志戸前奈那 畠山真弓 大久保訓
 26. 当センターにおける脳卒中患者のSDS得点とADLの改善の関連性について
岩手県作業療学会 岩手県盛岡市 2015年11月1日
○小笠原未久 山本晶子 吉田賢史 山下浩樹
 27. 岩手県地域リハビリテーション関係職員研修会『リスク管理』における活動報告
リハ・ケア合同研究大会 兵庫県神戸市 2015年10月1日
○大久保訓、高階欣晴、山下浩樹（機能回復療法部）、後藤由美、山本なお子、上斗米律子（看護部）、菊池浩子、青木俊明（地域支援部）、大井清文、高橋明（診療部）
 28. 遅延型ギランバレー症候群を呈し、依存性も強い症例におけるADL拡大・自宅退院に向けた取り組み
回復期リハ病棟協会研究大会 沖縄県那覇市 2016年2月28日
○大森あゆみ、長山悦子（機能回復療法部）、佐藤義朝、大井清文（診療部）
 29. 当センター回復期リハビリテーション病棟における長期在院日数の要因について
回復期リハ病棟協会研究大会 沖縄県那覇市 2016年2月28日
○山本晶子、中村一葉、山下浩樹（機能回復療法部）古舘郁子、下野心（看護部）、小原由梨乃（総合相談科）、大井清文（診療部）
- 言語聴覚療法科
30. 回復期退院後に完全側臥位法を導入し、3食自力で経口摂取が可能となったくも膜下出血の1例
第21回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 京都府 2015年9月11日
○佐藤育美、阿部信之（機能回復療法部）、佐藤義朝、大井清文（診療部）
 31. 当センターにおける脳卒中失語症患者のSLTA予後予測について
第39回日本高次脳機能障害学会学術総会 東京都 2015年12月10日
○阿部信之、佐藤育美、神里美咲（機能回復療法部）、大井清文（診療部）
- 臨床心理科
32. 抑うつに対するPositive Data Logの効果について一冊子群とツイッター群の比較—
東北心理学会 宮城県仙台市 2015年6月6日
○菊池美歩、織田信男（岩手大学人文社会科学部）

B 院内研究発表会

院内職員の研究への意識付けや、理解のために毎年、年2回実施している。

ア 第43回院内研究発表会 2015年7月16日 17:30~18:30

1. 高次機能障害のある患者の看護における看護師の行動
看護部 ○高橋晶子
2. 四肢麻痺者が使用するエアブラシ自助具の試作—QOL向上に向けて—
作業療法科 ○吉田 健
3. 平成26年度訪問事業のまとめ—現状と今後の課題—
地域・在宅支援室室長 ○小澤悦子 副センター長・兼地域支援部長 青木俊明
業務推進課長 山本康典 地域・在宅支援室科長 浅野文博 理学療法士 高階欣晴
療法調整科長 高橋真美子
4. 介護老健施設における摂食嚥下リハビリの課題
診療部 ○佐藤義朝、大井清文、高橋明、村上英恵、村田深雪（診療部）

イ 第44回院内研究発表会 2015年2月18日 17:30~18:30

1. 転倒転落アセスメントスコアによる4点柵の設置基準の見直し
看護部 ○豊瀬愛実、阿部睦子、山口歩
2. 回復期病棟における自立歩行獲得後の転倒分析
理学療法科 ○渡辺幸太郎、佐藤英雄 診療部 大井清文

3. 当センター退院患者の職業復帰の状況について
地域支援部○上田大介、青木俊明、山本なお子、諸橋勇、菊地浩子、古舘郁子、大久保訓
4. 回復期退院後に完全側臥位法を導入し3食自力で経口摂取が可能となったくも膜下出血の1例
言語聴覚療法 ○佐藤育美、阿部信之、診療部 佐藤義朝、大井清文

C データベース構築及び運用（予後予測システムの構築）

- ア データベースソフトの構築
イ データベース入力手順の取り決め及び運用
ウ データベース入力（約3,580症例）
エ 予後予測式の作成および精度の検討

D 動作解析装置運用に関して

動作解析装置の臨床応用を可能にし、より客観的なデータを示すことにより、リハ医療のエビデンスを構築する。そのために十分に器機やデータ分析の方法を理解する必要がある。

国際医療福祉大学大学院教授山本澄子先生を4回招聘し指導を受ける。

（2015年5月7日、8月3日、10月23日、2016年2月3日）

- ア 機器の精度の検討
イ 測定法、データ分析の指導を受ける（片麻痺患者の運動解析、健常者における運動機能分析）
ウ 健常者、患者の動作計測
エ 学会等で発表
オ センター職員への教育

E 研究開発部からの派遣

県外で行われている、イベントや研修会に参加し最新の知識を吸収し、研究や臨床、県内専門職への情報提供に生かしていく。

- ア 国際モダンホスピタルショウ 2015 参加 7月15～17日 東京
理学療法科小野寺一也、看護部千葉勝江
イ 第42回国際福祉機器展参加 10月7日～9日 東京
作業療法科 木附沢一茂、言語療法科 渡部小麦

F 研究開発部センター内情報発信活動

- ア 研究開発部マガジン（2回／月、院内向け）No. 222～245 発行
イ これってな～に??（1回／月 院内向け）No. 52～63 発行
院内向けに、最新の研究や学会情報などを発信し、研究活動に活かしてもらう。
・ホームページの紹介
・リハニュース 福祉機器の紹介
・トピックス
・学会、研修会情報
・研究発表演題の紹介

G 研究活動の支援

- ア 文献検索システムの管理、運営、マニュアル作成
イ 動画編集システムの管理、運営
ウ 統計処理のアドバイス
エ 統計勉強会

H 現在進行中の研究

臨床の中で継続的に検討しているものも含めて、下記のような継続研究テーマを持っている。

- ア 脳血管障害者、頭部外傷者における高次脳機能障害の評価に関する基礎研究
イ モーターコントロール（運動制御）に関する基礎研究
ウ 四肢切断者に関する義手、義足の適合に関する検討
エ CI療法に関する研究
オ 嚥下障害に関する基礎研究（VF検査も含む）

- カ 福祉用具、福祉機器に関する調査、研究
- キ 脳卒中片麻痺患者の動作分析
- ク 脳卒中片麻痺患者の機能回復に関する予後予測
- コ 失語症者における聴覚機能に関する研究

I その他

- ア いわて医療機器事業化研究会研修会参加、協力
- イ 先進医療機器等開発プロジェクトへの協力
- ウ リハビリテーションの提供に関わる総合的な調査研究（リハビリテーション医学会）
- エ 戦略的研究開発推進事業研究実施プロジェクトへの参加・協働研究